

恵友

医療法人社団恵友会
霧ヶ丘つだ病院
ほっとホーム霧ヶ丘
恵友会デイサービスセンター
訪問看護・ヘルパー
ケアプランステーション
介護付有料老人ホームあべやま



今号の恵友

- ・受動喫煙対策の今後
～ 国×医療×地域 ～
- ・地域包括ケアシステム構築に向けた
地域の医療連携を
- ・呼吸ケア領域における質の高い
看護実践に向けて
- ・リハビリ科より学会参加報告
第26回日本呼吸ケアリハ学会in横浜
第4回日本呼吸ケアリハ学会九州地方会
- ・来院見学紹介
- ・新入職スタッフ紹介

『青海島の海底で出会った2mmの天使』

丸みを帯びた可愛らしい体型と体表を覆う無数の突起、吸盤状になった特徴ある腹ヒレを持ったダンゴウオは北半球の冷たい海に生息するカサゴ目カジカ亜目のお魚です。こちらは山口県青海島の船越で撮影したもので、実際の体長は2mm程度の子どもダンゴウオになります（頭部の輪っか模様が天使のようで可愛らしいですが、この子を海中で見つけるのは大変苦労しました）。このタイミングで出会えるのは2～3月という寒い時期ですが、天使の癒やしを求めて毎年多くのダイバーが集まっています。

《撮影：高瀬 正宏》

受動喫煙対策の今後 ～国×医療×地域～



「嗜好品」や「愛煙家」などの言葉は日本だけ

2020年の東京五輪・パラリンピック開催をきっかけに、ようやく日本も国際水準を目標とした受動喫煙防止対策に向けて動き始めましたが、イギリスやロシアなど世界49カ国では公共の屋内全面禁煙がすでに法制化されています。

日本の屋内禁煙対策は努力義務に留まっているため、WHO（世界保健機関）から「世界でも最低レベルの対策」と酷評されているのが現状です。（右表参照）

喫煙人口は国民の約20%と減少してはいるものの、厚生労働省の2016年版「たばこ白書」では、能動喫煙による死者数は年間13万人、**受動喫煙だけでも年間1万5千人が亡くなっている**というデータが出ています。（この受動喫煙死者数は、肺がん・心筋梗塞・脳卒中・乳幼児突然死症候群の4疾患における疫学的データで、他の癌やCOPDは含まれていません）同年の交通事故死者数は約4千人となっており、受動喫煙によって命を奪われる人々がどれほど多いかがわかります。

【五輪開催地の受動喫煙防止に関する法律】

開催年	開催都市	根拠(制定年)	罰則
2004年	アテネ	法律(2000年)	○
2006年	トリノ	法律(2005年)	○
2008年	北京	市条例(2008年)	○
2010年	バンクーバー	州法(2008年)	○
2012年	ロンドン	法律(2008年)	○
2014年	ソチ	法律(2008年)	○
2016年	リオデジャネイロ	州法(2008年)	○
2018年	平昌	法律(2008年)	○
2020年	東京	なし	?
2022年	北京	市条例(2008年)	○

飲食店の禁煙化～おもてなしの心を～

現在、厚生労働省が打ち出した受動喫煙防止対策強化案の「飲食店は原則禁煙」に対して、自民党タバコ議連や飲食店団体から「小規模店舗は特例を」「禁煙ではなく分煙を」「禁煙にすると店が潰れてしまう」と規制緩和への舵切り議論が行われています。

しかし、実際これらの要望は一昔前すでにスペインで実行されましたが定着せずに終わっており、さらに飲食店全面禁煙を法制化している諸外国の法施行前後の店舗収入に、ほとんど差はありませんでした。（図1）

国内では、九州看護大学川俣教授の研究グループによる10,051人を対象にしたアンケート調査（約100万人のモニターの中から日本の人口構成の特徴を考慮し、層化無作為抽出法によってサンプリングしたもの）において、**実に73.1%が飲食店一律禁煙に賛成**（反対はわずか9.8%）しており、さらに喫煙可能な飲食店が禁煙になった場合に42%が利用増える（利用減るは12.5%）と回答しています。

そもそも、キレイな空気で飲食をするほうが断然「美味しい」と感じることができますし、せっかくの世界に誇れる日本食をタバコの煙で台無しにするほど勿体無いことはありません。

五輪招致プレゼンでの「おもてなし」という言葉、これは日本人同士のあらゆる場面においても忘れてはならない“ことば”だと思います。

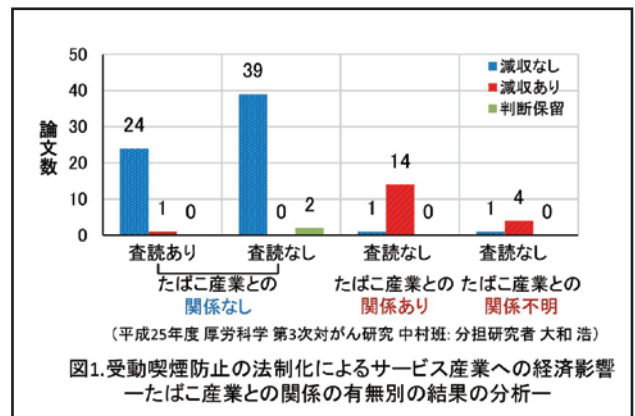
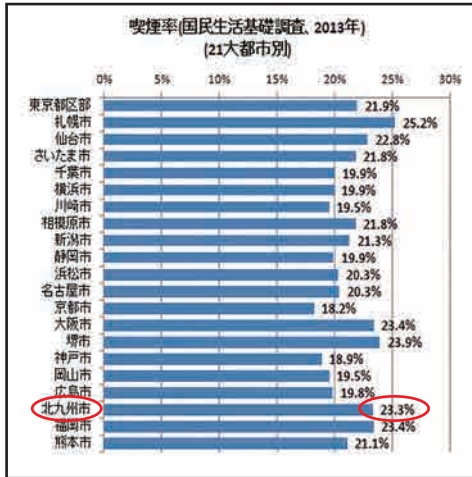


図1. 受動喫煙防止の法制化によるサービス産業への経済影響—たばこ産業との関係の有無別の結果の分析—

北九州市では受動喫煙防止対策意見交換会を開催



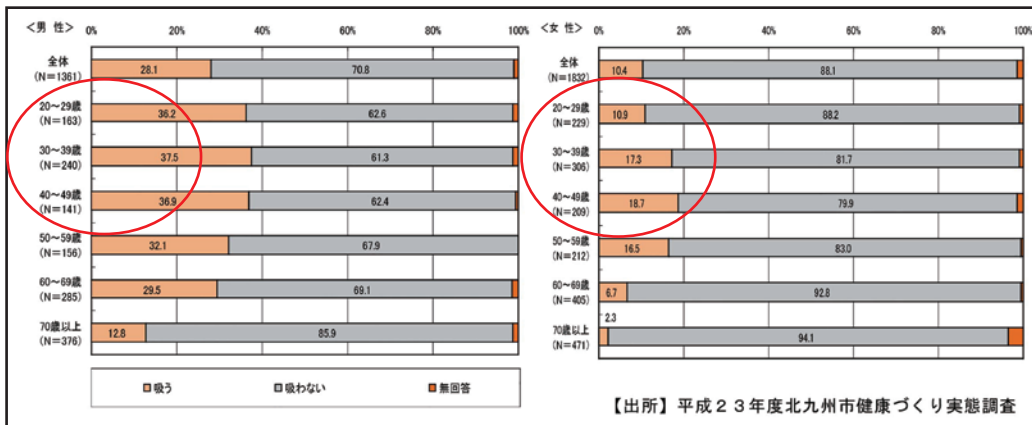
北九州市は全国21大都市における喫煙率の高さでワースト5に入り、健康寿命も全国平均を下回っています。

これらの状況を危惧し、タバコ問題に尽力されている産医大の大和教授をはじめとする医師会・歯科医師会・薬剤師会の各理事と津田院長、そして市内の飲食や観光業界の方々を構成員として、市役所健康推進課職員との受動喫煙防止対策意見交換会が平成29年2月に開催されました。

受動喫煙対策の国の動向などを踏まえて北九州市ではどのように対策強化を図っていくべきか各々が情報提供を行い、課題解決に向けて綿密な話し合いを行いました。

今後も継続して意見交換会を開催し、タバコから市民の健康を守るために行政と地域が協働した仕組みづくりに尽力していきたいと思っております。

【北九州市の男女別喫煙状況】



※ 男女ともに若年層の喫煙率が高く、受動喫煙による家庭内(特に子ども)への影響が懸念されます。また、妊娠女性のタバコに対する認識が薄く、妊娠中もずっと喫煙を続けていることも北九州市の課題です。

当院と地域のネットワーク

当院も呼吸器専門病院の使命として、スタッフ全員でタバコやCOPDに関する講演会や各種イベントなど様々な啓発活動を行っています。

今後はさらに活動の幅を広げ、地域住民が主体となって取り組むためのサポートや人材育成、そして医療と地域が融合した新たな活動の立ち上げなど、病院基点だけでなく地域も自主的に発信できるような体制を目指していきたいと思っております。

講習会や防煙教室などの依頼も受け付けていますので、ご希望の場合は下記までお問い合わせください☆

☎ 093-921-0438 (病院代表)



地域包括ケアシステム構築に向けた地域の医療連携を

私的病院としての地域医療連携の取り組み

小倉地区では病病・病診・診診連携の強化を図るために、基幹病院を中心に地域医療連携会議を定期開催しています。連携体制の効率化や課題解決に向けて様々な意見交換が行われており、地域医療の質向上に努めています。

第7回目の「私的病院としての地域医療連携の取り組み」では、津田院長も地域包括ケア時代における呼吸・睡眠医療の専門病院という立場から、呼吸器疾患の管理（看護・リハビリ・栄養）に対する医療連携の重要性を説明いたしました。また、市の地域医療構想調整会議委員としての活動紹介も行いました。



第39回 小倉医師会医療安全シンポジウム



北九州総合病院院長の永田永幹先生が座長を務められた医療安全シンポジウム「災害が起きたら？～各施設の取り組み～」では、健和会大手町病院の古城先生が災害拠点病院の取り組み、高嶋クリニックの高嶋先生が診療所や医師会の取り組み、そして当院の松田事務部長が「地域包括ケアシステムの中での中小病院としての当院の災害対策」として、それぞれの医療機関が役割に応じた災害対策（トリアージや連携体制、防災訓練など）を講話いたしました。

小倉医師会私的病院会 講演会

小倉医師会私的病院会主催の講演会に、石川県より恵寿総合病院理事長の神野正博先生をお招きして『地域包括ケアシステムを経営にどう結びつけるか』をテーマにお話いただき、会場は満員御礼となりました。

我が国の将来人口や医療機能別病床の推計、また診療報酬改定等の見通しから、医療・介護を地域包括ケアシステムの中でどのように拡充させていくべきなのか、そのために必要な資源は何か、といった内容は大変興味深く、私たちの地域で今後取り組むべき課題等を考え直す機会にもなったのではないのでしょうか。

また、神野先生が石川県で長きに渡って取り組んでおられる医療・介護・福祉統合ネットワーク「けいじゅヘルスケアシステム」のご紹介もあり、急性期の先端医療から在宅支援までを切れ目なく地域を支える先駆的な患寿式包括ケアの素晴らしさ、スケールの大きさに感銘を受けました。貴重なご講演、ありがとうございました。



神野 正博 先生

全日本病院協会	副会長
日本病院団体協議会	議長
日本社会医療法人協議会	副会長

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部での日本版C CRC構想有識者会議委員をはじめ、厚生労働省では医道審議会での医師臨床研修や医師国家試験委員を、また中医協診療報酬調査専門組織では入院医療等の調査・評価分科会委員など、日本の医療の主幹に携わっておられます。

呼吸ケア領域における質の高い看護実践に向けて

患者さんに寄り添った質の高い診療や看護とはどういうことか、私たちは常にそれらと向き合って研鑽していかなければなりません。今回、感染管理認定看護師の認定審査に1名合格し、院内勉強会や実習受け入れを積極的に行うことで、より水準の高いケアを目指しています☆



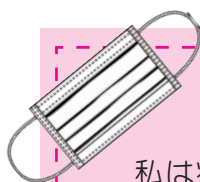
スタッフのスキルアップを

新潟県下越病院の慢性呼吸器疾患認定看護師であり呼吸ケアの第一線で活躍されている小林千穂さんをお招きし、在宅呼吸ケアの現状と課題について認定看護師の立場からお話いただきました。看護技術はもとより、患者さんへの情緒的支援の関わりや認定看護師のリーダーシップ・メンバーシップとしての働きかけなど、今後の看護現場にとっても大切な学びを得ることができました。



認定看護師の養成施設として

今年度も福井大学看護キャリアアップセンターより慢性呼吸器疾患看護認定看護師の研修生を4名受け入れました。患者さんや多職種との関わりの中で専門的知識と技術をどのように活かしていくのか、またスタッフの相談を受け指導する立場の難しさなど認定看護師として今後活動していくための新たな課題やヒントを発見する機会にもなったのではないのでしょうか？研修生の皆さん、お疲れさまでした☆



感染管理認定看護師として目指すこと

病棟看護師：坂元 裕子

私は病院のサポートを受けて国際医療福祉大学の感染管理認定看護師養成コースに行かせていただき、このたび無事に合格することができました。

医療現場に限らず、新型コロナウイルスや耐性菌の進化、また媒介の多様化など、感染症は深刻化しています。そのような環境の中から患者さん(ご家族)や院内スタッフを守るために、的確な状況判断とベストな感染管理プログラムの構築、専門職としてのアドバイスを実践していくことが私の使命だと思っています。

また、院外活動として北九州市の感染管理認定看護師会(ICNK)に現在参加しています。そのネットワークから得た情報や知識を院内スタッフだけでなく、地域住民の予防相談や外部研修会にも役立つよう活動していきますので、要望等ございましたらどうぞお気軽にお声かけください。

最後になりますが、このような機会を与えてくださった病院に感謝し、今後も誠心誠意取り組んでいきたいと思っております。



来院見学紹介

福島より坪井病院 理事長の坪井永保先生

お父上が坪井榮孝先生(世界医師会会長と日本医師会会長を歴任)であり、現在、福島県郡山市で230床のがん専門病院を運営しておられる坪井永保先生が来院されました。

坪井先生はスペシャリティな緩和ケアをはじめ、薬剤師外来やリンパ浮腫外来など様々な特殊医療も展開されています。また、呼吸器疾患治療にも大変力を入れており、終末期の緩和ケアについて充実した情報交換ができました。

遠路はるばるお越しいただき、ありがとうございました！

山口より岩国みなみ病院長の野坂誠士先生



津田院長の両隣が野坂先生ご夫妻です

野坂先生は2014年8月の岩国集中豪雨で被災したにもかかわらず、地域医療を継続するために今日まで病院機能の復旧と患者さんの外来診療に尽力されてきました。



今回は、入院業務の再開にあたって当院の呼吸器診療の取り組みを参考に、津田院長とのお話や各部署をご見学いただきました。病院の復興と発展を北九州より祈念しております。

新任スタッフ紹介



松永 崇史

【常勤医師】
・日本内科学会
認定医
・外来診療日
火・木曜の午前
土曜午前(隔週)



白石 朝子

【非常勤医師】
・日本呼吸器学会
専門医
・日本内科学会
認定医
・外来診療日
月曜の午前



藤田 明孝

【非常勤医師】
・日本内科学会
認定医
・外来診療日
水曜の午後



看護師
尾上 綾子



看護師
犬塚 ゆきえ



理学療法士
松尾 聡



理学療法士
中澤 弥玖



検査技師
濱田 隆貴



MSW
藤永 里江子

学会報告

横浜で開催された第26回日本呼吸ケアリハ学会では、日本緩和医療学会と共同シンポジウム「終末期の呼吸ケア～どこまで呼吸ケア、どこから緩和？」

(司会：国立病院機構南京都病院呼吸器科の坪井先生と津田院長、シンポジスト：平原先生、桂先生、門脇先生、吉澤先生、竹川先生)を企画いたしました。6月には津田院長と平原先生による「非がん性呼吸器疾患の緩和ケア」を編集出版の予定です。

また、当院のリハビリ科スタッフも呼吸器の専門病院として様々な臨床研究を行っており、各地で研究成果を発信していますのでご報告いたします☆

第26回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会 in 横浜 会長：蝶名林 直彦先生

●COPD患者の1秒量の低下における身体特性の比較／金田 瑠美

COPD患者(125名)を1秒量700ml以上と未満の2群に分け、各項目と1秒量との相関関係から身体特性に違いがあるかを検討しました。

1秒量との相関関係はNRADL、6MWD、CATで認められ、他項目においても有意差がありました。今後は1秒量の身体機能への影響、残存する肺機能でどのように呼吸リハを進めていくかを考えていきます。



●軽度認知機能障害を有するCOPD患者の特性／進藤 崇史

MMSEでは感知できない軽度認知機能障害を有するCOPD患者(33名)に、The Montreal Cognitive Assessment:MoCA-Jを1対1の面接方式で評価実施、MoCA-Jカットオフ値26点で2群に分けて肺機能、6MWDと最低SpO₂、CAT、LINQ、BODE indexとの関連をSPSSを用いて解析しました。

MMSEよりもMoCA-Jで軽度認知機能低下を検出でき、26点以下の群では6MWD中の最低SpO₂が有意に低いことがわかりました。MoCA-JはCOPD患者の軽度の認知機能評価として優れていると考えられます。

第4回 日本呼吸ケア・リハビリテーション学会九州・沖縄地方会 in 長崎 会長：神津 玲先生

★シンポジウム「各病期における呼吸ケア」 ④終末期の呼吸ケア /津田 徹

●COPD患者における90日以内の再入院因子の検討／池内 智之

入院呼吸リハプログラムに参加したCOPD患者112例を対象に後方視的にデータ収集、ロジスティック回帰分析を行い再入院因子の検討を行いました。チャールソンインデックス、mMRC、体重減少率が有意な短期再入院因子として抽出されたことから、依存症のリスク管理、呼吸困難の軽減、体重変化も一層考慮して呼吸リハを実施していきます。



●COPD患者のTime Up and Go Testと肺機能の関連／田中 雄也

呼吸リハ入院をした安定期COPD患者41名を対象に、%VC80%以上と未満で2群分けして肺機能とバランス能力との関係を調べました。両比較ともに有意差が認められたことから、気流制限のみでなく肺活量も低下している重症COPD患者には、バランス評価と転倒予防に留意した呼吸リハ介入を行う必要があると考えられました。

●COPD患者における軽度認知機能障害とセルフマネジメントとの関連／進藤 崇史

安定期のCOPD患者35名を対象に、MoCA-JとLINQを用いて認知機能とセルフマネジメント能力の関連について検討したところ、MoCA-JとLINQにおいて $r=-0.54$ という負の相関が認められました。またCOPD患者の認知機能低下の特性として、視空間/実行、注意力、言語、遅延再生などの検査項目に有意差が認められたものの、命名や抽出概念、見当識に有意差はなかったことから、今後のCOPD患者のセルフマネジメント教育には画像や絵などを用いること、視覚的教材の充実が呼吸ケアリハ学会にも求められていると考えられます。

外来担当のご案内

【外来担当表】

2017. 4. 1

下記の担当医は、都合により変更になる場合がございます。その場合は他の医師が診察いたしますのでご了承ください。

	午前(9:00~12:00) 受付は11:30まで(初診は10:30まで)	午後(14:00~17:00) 受付は16:30まで(初診は15:30まで)	(17:30~20:00) 受付は19:30まで
月	津田 徹 吉本 美華 白石 朝子	一木 克之	
火	津田 徹 一木 克之 松永 崇史	加茂 洋志[リウマチ外来] 自見 勇郎	
水	午前外来休診	増井 太朗 藤田 明孝[九大呼吸器科] 廣澤 誠[産医大]	一般内科・呼吸器外来 津田 徹(一木 克之) 一般内科・糖尿外来 田中 誠一[九州労災病院]
木	津田 徹 自見 勇郎	加茂 洋志[リウマチ外来] 吉本 美華	水曜日の夜間外来は再来 患者さんのみの診療とな ります。
金	津田 徹 一木 克之 松永 崇史	岡元 昌樹[久大1内科]	ただし、睡眠時無呼吸・ 禁煙外来の初診は18時半 まで受け付けています。
土	自見 勇郎/松永 崇史[交替] 吉本 美華/今岡 治樹[交替] 脳血管外来 石束 隆男[第2・4土曜] 睡眠歯科外来 津田 緩子[月2回:予約制]		(注) 院長の外来診療は予約制となります。

※月に一度、最初の診察日には**保険証**を忘れずご持参ください。

※日曜、祝日、土曜午後、水曜午前は休診です。(その他の休診日については、その都度掲示致します)

※睡眠呼吸障害外来の初診は月~土の全診療時間で行っております。

※当院にお掛かりの方で喘息の発作その他緊急時には、夜間でも電話(952-1304)をかけてご来院ください。

医療法人社団 恵友会
霧ヶ丘つた病院
ほっとホーム霧ヶ丘
恵友会デイサービスセンター・訪問看護
ヘルパー・ケアプランステーション
介護付有料老人ホームあべやま

発行日 : 2017年4月1日
編集発行人 : 井田 章博
発行所 : 医療法人恵友会
〒802-0052
北九州市小倉北区霧ヶ丘3-9-20
Tel. 093-921-0438 Fax. 093-921-5988
ホームページ : www.k-you.or.jp
メール : info@k-you.or.jp